



「外国語のすゝめ」



九州大学大学院言語文化研究院

Faculty of Languages and Cultures, Kyushu University



総長から新入生のみなさんへ

九州大学に入学した皆さんが、世界において指導的な役割を果たし、広く活躍できるグローバル人材に育つことを私は願っています。皆さんは直接海外に出て行ったり、インターネットやSNSなどの伝達手段を通じて世界中の人々と交流を図ったり、世界各地の人々を日本に迎えたりすることが多くなると思います。このような場合では、外国語、特に英語によるしっかりしたコミュニケーションの力が不可欠です。

皆さんの多くは大学受験のために英語の学習に励んできたことと思います。現在は、グローバル化が急速に進んできています。英語でのコミュニケーションやプレゼンテーションの力が求められています。若いときは頭脳が柔軟であり、吸収力も速いので、それらの力をさらに向上させてください。専門の学習を深め、就職や大学院へ進んでいくときにも英語力が必要です。

ところで、九州大学に来た留学生は日本語の勉強に励んでおり、多くの留学生が英語も十分に使うことができます。母語と日本語と英語という3言語を使うことができるのです。世界に開かれた大学や社会で活躍するには、母語と英語に加えてもう一つ外国語ができることが望まれます。新入生の皆さんも留学生と交流して、是非、英語以外の新しい言語に挑戦し、自分の世界を広げてください。

ことばは文化と密接に結びついています。外国語を学ぶということは、異文化を体験し、コミュニケーションの手段を手に入れ、異国の文化に対する理解をさらに深めることです。また、言語は思考の媒体でもありますので、異なる言語を習得することは、新しい思考回路を手に入れることにもつながります。このことにより、新たな発想で創造性を高めていくことができるでしょう。外国語学習により異なる文化に触れることは、皆さんの人間性を豊かにしていくことにもなります。

九州大学では、言語文化研究院を中心に大学全体で皆さんの外国語学習のために多様な機会を提供しています。現在、九州大学は、海外の53ヶ国395



九州大学 総長 久保 千春

機関と協定を締結しており、102カ国・地域から約2200人の留学生が在籍しています。2010年には英語による授業のみで学士の学位が取得できる国際コースを設置しています。また、JTWやJLCCなどの短期留学プログラムもあり、留学生を中心にした大規模な秋季入学式を実施するなど教育の国際化を進めています。また九州大学の学生が海外研修を体験できるプログラムもあります。研究面や大学の運営体制においても国際化が進んでおり、九州大学として、今後も更なる国際化を推し進めていきます。

このグローバル化の時代において、皆さんが積極的に交換留学に参加し、海外での経験を積むことにより、国際性豊かな人材に育って欲しいと強く願っています。大学としても、今後もさらに充実した学習環境を整備していきます。皆さんはこの資源を十分に活用し、外国語の学習等を通じて新たな文化の扉を開け、新しい思考の道筋を開き、世界へ、未来へ羽ばたいてください。

「言語文化のグローバル化」とは

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。大学入試という難関を乗り越え、新たな希望に胸を膨らませていることでしょう。これまで皆さんを支えてくれた人たちへの感謝を忘れることなく、思う存分青春を謳歌してください。しかしそれは好きなことだけをして「遊び呆ける」ことを意味しません。大学生の本分はもちろん勉学にあります。

「能動的でなければ何も身につかない」というのが大学での勉強と高校までのそれとの大きな違いです。別の角度から言えば、能動的な学生は、さまざまな学問に触れることができます。ほとんどの大学教員は研究者かつ教育者です。文系・理系を問わず、幅広い学問領域の研究・教育者が集まっているのが、総合大学たる九州大学の強味です。ぜひ積極的・能動的に興味関心がある領域の専門家を訪ね、その門戸を叩いてください。

私たち言語文化研究院は言語、文学、思想、哲学、歴史、異文化コミュニケーション、国際協力・開発、ジェンダー等、様々な研究を遂行している研究者が、各々の研究対象において使用されている言語、すなわち英語、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、韓国語、スペイン語を教育している部署です。

人口に膾炙したドイツの文豪ゲーテの言葉に「外国語を知らぬ者は自分の言語について何も知らない」(Wer fremde Sprachen nicht kennt, weiß nichts von seiner eigenen.)があります。皆さんのほとんどは、自分がそれをたまたま選ばざるを得なかった母語(大半の学生にとっては日本語)という「牢獄」の囚人であるとは感じていないことでしょう。言語は思考や世界観を大幅に規定します。ゲーテが言わんとしたのは、「自己を相対化し、他者を理解するためには、外国語を学ぶにしくはない」ということです。外国語教育は、決して単なるスキル教育ではありません。皆さんの精神的な部分を形成している素材のほとんどが母語によって構築されているとすれば、外国語教育は、それに揺さぶりをかける、全人格的教育と言わなくてはなりません。外国語を学ぶことは決して楽ではありません。「王道」のない地道な作業です。しかも「何かを学んだ」と言えるのは、つねに学びの過程が終わった後です。「学んだ」というのは常に振り返って言えること、つまり回顧的な言明です。振り返ると「違う景色が見える」と言える地点まで、努力を続けていただきたいと思えます。

またコミュニケーション能力と語学力とは別物であることに注意してください。外国語に堪能でもコミュニケーションの不得手な人はいますし、その逆もあります。「国際コミュニケーション能力」といった造語もあるようですが、後半のコミュニケーション能力の方は皆さんが各自で高めていかなければなりません。意見や立場や言語の異なる人と語り合える「場」を作りだせるかどうか、その試金石となるでしょう。

「経済のグローバル化」が急速に進展しました。その理想



言語文化研究院長 福元 圭太

は「人・物・金」つまり「労働力と物資と資本」の障壁のない流動化です。言語や文化が多様であれば、当然それが流動化の「障壁」となります。英語が世界のリング・フランカ(共通言語)となり、英語習得の必要性が強調される背景には、言語文化的「障壁」の除去という目的があるのです。しかしそれに伴い欧米、特にアメリカ的な価値観が、文化の多様性と衝突してきました。近年になってようやく、行き過ぎた「経済のグローバル化」がもたらす負の側面が強調されはじめました。それは例えば、国民国家という枠の崩壊(英国のEU離脱は、国民国家を「取り戻そう」という動きの表れと言えるでしょう)、言語文化の多様性の消失、富の集中と貧富格差の拡大、過度のコスト削減競争による安定雇用制度の終焉などです。「経済のグローバル化」が人類に本当の幸福をもたらすかどうかは、疑問なしとしません。

他方「経済のグローバル化」、すなわち「世界の一元化」に対抗する形で、過激な原理主義的ナショナリズムも台頭してきました。しかし自国や自民族の価値観のみを金科玉条とし、自分の殻に閉じこもってしまうこともまた誤りでしょう。

以上のように一元化と分裂が葛藤する現代世界の中で、皆さんには異なる歴史的背景や価値観をもつ人々と協調・共生し、日本および国際社会の発展に寄与することのできる人材となっていただきたい。自己を相対化し、多様性を認識し、他者を理解・尊重することで世界の平和と安寧のために尽力していただきたい。九州大学における外国語学習は、他者の言語を学ぶことを通じて世界の平和と安寧に貢献することを究極の目的とします。「経済のグローバル化」には、多様性の承認・自己の相対化・他者理解を内容とする「言語文化のグローバル化」で応えましょう。皆さんの健闘を祈ります。



外国語紹介

英語

皆さん方の中には、英語の読解力や文法力はあるが、英語を聞いて話すことが苦手だと思っている人がいるかもしれません。しかしながら、TOEFL、TOEICをはじめとする検定試験を受けた学生のスコアを見てみると、読解力や文法力の方が聞き取りの力より高いとはいいがたいというのが、このところの傾向です。それどころか、読解力や文法力の方が、聞き取りの力よりも劣っている場合も少なくないのです。

読解力が必要な例として、インターネットを考えてみましょう。インターネットによる情報量は、かなりのものですが、英文で書かれたインターネットの内容を使いこなすためには、正確な読解力を必要としますし、自ら情報を発信しようとする場合には、作文力が必要なのは言うまでもないでしょう。また、正確な読解力、作文力は、語彙力、文法力に裏打ちされていなければ成り立ちえません。また、皆さん方が、近い将来接することになる専門分野の書物や論文、職業上必要な文献や書類などについても、正確な読みが必要とされるのは言うまでもありません。

もちろん、英語が言葉である限り、読み、書き、聞き、話すという4つの技能をバランスよく身につける必要があります。また、それら4つの技能は、それぞれ独立したのではなく、互いに密接に関係し合っています。たとえば、国際学会で英語で発表する場合、発表に対して英語で質問がなされます。その質問を理解するためには、英語の音を聞き取るという単純なリスニングの力だけでは不十分です。英語で発せられた質問の内容を正確に理解するためには、その英語の内容を理解する読解力が必要なのです。また、質問に正確に回答するためには、話す力が必要ですが、英語らしい発音や会話の決まり文句を覚えただけでは、不十分なことは自明のことでしょう。つまり、自分の言いたいことを英語で正確に伝えるためには、十分な語彙力と構文を組み立てる文法力、そして、英語の論理構造に対する知識に裏打ちされた作文力が必要なのです。

それから最後に一言。英語の発祥の地イギリスは、文豪シェイクスピアを生んだ国です。『不思議の国のアリス』や『くまのプーさん』もイギリス生まれです。また、アメリカをはじめとする他の英語圏の国々にも優れた文学や文化があります。コミュニケーションのためには、言葉だけでなく、文化的な知識も不可欠です。ぜひ、英語圏の国々の文化的な側面にも触れてみてください。



ドイツ語

ドイツ語は西ゲルマン語に属する言語で、英語とは兄弟の関係にあります。ドイツ、オーストリア、スイス、リヒテンシュタイン、ルクセンブルクの公用語になっているほか、東欧諸国のかかなりの地域でも話されており、ヨーロッパでは最大の約1億2千万の使用人口をもちます。私たちの学ぶ「標準ドイツ語」は、ルターへの聖書翻訳や印刷術の普及をきっかけに成立し、ゲーテやシラー、グリム兄弟らの努力によりできあがった、一つの歴史的・文化的作品といえるものです。

ドイツ語には、18世紀後半から20世紀にかけ、自然科学・社会科学・人文科学・芸術の各分野で世界をリードした人々の遺産が、豊富に蓄積されています。その文献が直接読めるようになることは、表面的でなく本格的に学問に取り組もうとする皆さんにとって、はかり知れない意味をもつでしょう。

しかし、現在のドイツ（1990年に東西ドイツが再統合）は、むしろEUにおける政治・経済の中心として、また先進的な環境政策・社会福祉政策をもつ国、サッカーが強い国として知られています。ドイツ語を学ぶことは、これらの分野の最新情報に触れる格好な機会ともなります。

では、そのドイツ語とはどんな言語なのでしょう。単語は英語とよく似たものが多くあります。でも、英語に比べ、つづりと発音の関係はずっと簡単です。母音 a/i/u/e/o はローマ字式に「アイウエオ」と読めばよく、英語の cat, cake, call に含まれる a のように単語によって異なる読み方をすることはありません。一方、文法は、動詞や名詞・形容詞の語形変化があつて、最初のうちは少しとまどうかもしれません。しかし、最初の数か月がんばって基礎をマスターすれば、最初は難関と見えた文法が、いつのまにか理解や表現を手助けしてくれる、頼りになる味方に思えてくるものです。語形変化することで文中の名詞の役割が明示され、自由な語順や精密な意味伝達が可能になる便利さを、ぜひ味わってほしいと思います。

文法とは、つまるところ、その言語を使う人々が世界をどのように見、どのように考えているかの体系に他なりません。ドイツ語を学ぶ経験が、皆さんにとって英語や日本語、そして言語というものを見つめなおすよい機会になることを期待しています。



フランス語

フランス語は、ラテン語を母胎とし、ゲルマン系のフランク族の言語の影響を受けて成立した言葉です。イタリア語やスペイン語とは姉妹の関係に当たります。

17世紀に絶対王政を築いたルイ14世以来、ヨーロッパの公用語として、各国の宮廷やサロンで話されてきました。18世紀には啓蒙思想を、フランス革命以降は自由主義思想を広く世界に伝えてきました。

現在でも芸術や思想、ファッションの発信手段となるだけでなく国連などの国際機関の公用語となっています。フランス語が話されるのはフランスだけではなくベルギー、スイス、モナコ、ルクセンブルクなどのヨーロッパ圏に加えて、カナダ、アフリカ諸国でもフランス語が使われています。さらに、カリブ海、インド洋の島々といった地域をあげることができます。こうした広い地域圏の中で話されるフランス語とは、どんな言葉なのでしょうか。

これまで外国語というと、英語を中心に学習してきた耳には、その発音は新鮮なものとして響くでしょう。鼻母音をはじめとする発音の仕組みは英語がリズム系であるとするれば、メロディー系に属すると言えるかもしれません。また英語と比較すれば、豊かなヴァリエーションに富んだ時制表現が挙げられるでしょう。自分の置かれた状況を的確に表す言い方が、表現の中に蓄えられています。こうした特長をもつ言葉にチャレンジしながら、語りの幅を広げていくことができるでしょう。

フランス文化の基本的性格として、異文化に対する尊敬の念を挙げておきましょう。フランス人にとって、文化とは多様であることが自然な姿なのです。この姿勢から生まれる文化包容力は、他の様々な言語文化と共生しながら、交流を通じて豊かな世界を作り上げようとします。伝統文化を守りながらも、日本のマンガ文化にも目を向けたりしています。オーソドックスなシャンソンの脇で、アフリカ、アラブ社会の音楽に影響を受けた新しいサウンド、アングロ・サクソン系のロック・ミュージックとも異なるサウンドが、人々の心を捉えています。多言語のダイナミズムを生きる言葉、画一化、均質化とは無縁の言語、それがフランス語です。



中国語

中国語は中国大陸だけでなく、全世界に散らばる中国人（華僑・華人）社会で使われている、おそらく最も使用人口の多い言語です。アメリカでもヨーロッパでも、中国人の住んでいない所を見つけるのは困難です。これほど使いでのある言葉はありません。

事柄をアジアに限っても、中国が政治や経済に占める影響力は日増しに大きくなっています。中国語の必要性もどんどん大きくなっているわけです。

言葉の価値がこういう実用性だけで決まるわけでは勿論ありません。「役に立つから学びましょう」などというのは、大変実利的な話で、そういうことを言いたいのではありません。中国語がおかれている客観的な状況がそうであると言いたいです。

さて、このように使用人口が多く、将来的にも役に立ちそうな中国語ですが、それほど学びやすい言語ではありません。

中国語は漢字で書かれており、日本語と共通する語彙も少なくはありません。入門段階のテキストですと、意味だけなら勉強していなくても理解できるほどです。入門段階の教科書がやさしそうだというので中国語を選ぶ学生が毎年少なくありません。そしてそういう学生の多くが途中でそうでないことに気づき、後悔します。最大の誤りは、中国語には中国語の発音と、中国語の文法、簡体字と呼ぶ漢字（日本の漢字と違うものが多い）があり、それによって運用される外国語だということを深刻に認識しなかった点にあります。例えば、「私は彼が好きです」という日本語に相当する中国語は「我喜欢他」ですが、これは「ウォ シィホアン タァ」のように発音し、これを“wǒ xǐhuan tā”とローマ字表記します。「欢」というのは「歡」の簡体字ですし、ローマ字の上にある符号“V”や“-”は「声調」という音の高さを表す符号です。またこれを「他喜欢我」というと「彼は私が好きだ」という意味になります。お分りのように大抵の言語にある「格」を表す文法的標識はありません。格を決めるのは語順なのです。

中国語を選ぶということは、こうした言語的特徴をもった言語を学ぶということです。それを面白いと思い、難しそうだがそういう言語こそ学んでみたい、という意欲ある諸君を待っています。





外国語紹介

ロシア語

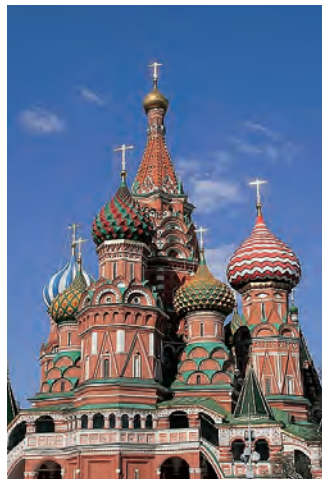
ロシアは日本の隣国です。両国間の経済的、文化的、人的な相互交流は、近年大きく進展しています。とりわけ経済面では、ロシアは新たな市場として注目され、既に多くの日本企業がロシアに進出しています。日本とロシアの間の経済協力は今後さらに深まっていくはずで、日本におけるロシア語の社会的需要は今後より高まっていくことでしょう。

また、言うまでもなく、ロシアは国際社会における最重要国のひとつです。しかも、ロシア語はロシアばかりではなく(ロシア一国だけでも十分広大ですが)、かつてソ連邦であった地域を中心に2億3000万人を超える人々によって話されています。

ロシア語というと、あの「奇妙な」文字を思い浮かべる人が多いことでしょう(もっとも、見慣れない文字だからといって、発音まで「変わっている」とは限りません。念のため…)。じつは、ロシア語の文字はギリシア文字からつくられています。これはロシアがビザンツ帝国からギリシア正教を受容したためです。他方、英語と同じ文字を使う西欧の多くの言語は、カトリック教の文化圏に属しています(東西キリスト教会の分裂については世界史で習ったでしょう)。文字にはこうした歴史的、宗教的な背景があります。だから、ロシア語を学ぶことで、カトリック教中心の西欧とは異なる宗教文化に触れることができます。

また、ロシア語では文の中での役割(主語、目的語など)によって名詞が形を変えます。人の名前も変化します。日本語には「て、に、を、は」がありますが、それとどのような機能を果たしています。こうした変化の規則は、最初のうちは厄介に感じるでしょうが、基本的な構造を身につかせえすれば、かえってわかりやすくなるという利点もあります。

ドストエフスキーやトルストイに代表される文学、チャイコフスキーらの音楽、美しいバレエ、厳かな宗教画(イコン)、さらには、その斬新さで世界の現代芸術のさきがけとなったロシア・アヴァンギャルドなどなど、ロシアには豊かな文化があります。ロシア語を学ぶことで、こうしたロシアの文化にもっと親しむことができます。



韓国語

韓国語は「朝鮮語」とも呼ばれ、大韓民国と朝鮮民主主義人民共和国の住民の圧倒的多数が母語とする言語です。また、中華人民共和国の朝鮮族、ロシア連邦やウズベキスタン、カザフスタンなどの高麗人、日本の在日コリアンなどによっても使用されており、8,000万人以上の話者人口を有する大言語と言えます。

韓国語には様々な地域方言があり、言語学的には大きく6つほどの方言区画に分類されますが、南北ともにその標準語は基本的にソウル方言に基づいています。

韓国語の系統は未だ不明ですが、文法構造の面では、日本語やアルタイ諸語(ツングース諸語、モンゴル諸語、チュルク諸語)と類似しています。例えば、格関係を表すのに助詞を用いたり、SOVを基本語順とするなど、その類似点は枚挙に遑がありません。いわゆる敬語の体系も日本語と同じく高度に発達していますが、概ね日本語が相対敬語であるのに対し、韓国語は絶対敬語であるなど、同じ敬語体系を有していても相違点が見られます。なお、形容詞と動詞の一義的形態論的区別がない点は、ギリヤーク語(ニヴフ語)等と共通しています。

音韻の面では、日本語と大きく異なります。母音、子音の各々が日本語のそれよりも多く、音節構造も閉音節が多く現れます。音節末には7種の子音がひとつ立ち得ます。形態音韻論的交替も激しく、これは韓国語の難しいところでもあり、面白いところでもあります。現代韓国語(ソウル方言)には高低アクセントはなく、いわゆる長母音も事実上崩壊しています。これらも日本語と異なる点です。

語彙は、その出自から、固有語、漢字語、外来語、混種語の4種の語層に分類されます。漢字語は朝鮮漢字音で読まれ、日本語の漢語と共通した語が多くあります。

文字は、「ハングル」と称される、1443年に目的意識的に作られた人工的な文字を使用しています。子音字は発音器官、母音字はいわゆる三才(天地人)を象っています。ハングルは1字母1音を原則としつつも、その字母を音節ごとに組み合わせることで1文字を形成するため、音素文字としての性格と音節文字としての性格の双方を併せ持っています。漢字語については、漢字で表記することも原理的には可能ですが、現在の韓国においては、一部の人文系の学術書などを除き、漢字はほとんど用いられません。



スペイン語

スペイン語は、スペイン、中南米諸国、アメリカ合衆国など、世界中の約5億の人々によって話されている国際語で、国連の公用語のひとつにもなっています(ちなみに国連の公用語は英語・フランス語・ロシア語・中国語・アラビア語・スペイン語です)。最近では、経済、文学、美術、建築といった分野に限らず、スポーツ(特にサッカー)、音楽、料理など多くの分野で、スペイン語圏に対する関心が高まってきています。このようなスペイン語圏の文化・社会に対する興味を真の意味での「教養」に変えるためには、何よりもスペイン語を始めてみるのが一番です。

スペイン語は古代ローマ帝国で話されていたラテン語が変化してできた言語です。このようにラテン語を母体とした言語には、他にフランス語、イタリア語、ポルトガル語、ルーマニア語などがあります。これらは同じラテン語から生まれたいわば姉妹言語ですから、スペイン語を学習すればフランス語やイタリア語などにアプローチすることも容易になります。以下、初めてスペイン語に触れる人にとってそのアウトラインを紹介してみましょう。

まず、文字は基本的には英語と同じです。発音は、一般に、日本語を母語にする人にとっては簡単だと言われています。それは、スペイン語の音が日本語と同じく母音と子音の組み合わせからなっていること、しかも母音の数が日本語と同じく5つだけで、ほとんどローマ字読みでOKなことによります。

文法は、英語しか知らない人から見ると、冠詞や形容詞さらに動詞の形が変わり、最初は複雑に感じられるかもしれませんが、この複雑さも最初の数ヶ月を克服さえすれば、まったく異なったものにみえてきます。それまでバラバラに覚えてきた事柄がピタッと収まるべきところに取り、スペイン語の美しい規則性がその姿を現してくるからです。このスペイン語の美に触れるには努力が必要ですが、外国語学習に楽な道などないのは、みなさんよくご承知のことと思います。ぜひこの機会に大学生らしい実りある努力に挑戦してみてはいかがでしょうか。



その他の外国語

九州大学では以下の外国語も履修することができます。ただし、これらの外国語は卒業に最低限必要とされる外国語の単位の中には含まれません。詳しいことは入学式で配付される『平成30年度基幹教育履修要項』ならびに『平成30年度基幹教育全学教育科目時間割／ガイドブック』に出ていますので、参照してください。

インドネシア語

インドネシア語は、大小1万7千以上の島々からなるインドネシア共和国の様々な民族集団を結びつける言語です。表示はアルファベットで、発音はローマ字読みすれば通じる上、文法も柔軟ですので、日本人にとっては非常に習得しやすい言語です。

イタリア語

イタリア語はラテン語を母体とし、文化や芸術において歴史的に偉大な遺産を残してきました。今では日本にも、美術を始め、料理、ファッションに至るまで、イタリアのものが溢れています。日本語に発音が似て親しみやすいイタリア語は、古に花開き今に伝わる豊潤な文化のみならず、現代を彩る様々な要素により近づく鍵と言えるでしょう。

オランダ語

オランダ語は、オランダやベルギーなどで話されている言語で、英語やドイツ語によく似ています。一見日本人には馴染みのない言語のように思えますが、例えば、みなさんがよく知っているハウステンボスはオランダ語です。

エスペラント

エスペラントは1887年にポーランドの眼科医ザメンホフ博士によって作られた人工国際語です。人工語なので不規則変化や例外はなく、とても学びやすい言語です。エスペラントの学習者・使用者は地球上のあらゆるところにいます。

古典語

古典ギリシア語

ヨーロッパ思想の源流を語った言語、それが古典ギリシア語です。九州大学では「言語文化古典語科目」として伊都地区で開講されています。

ラテン語

ラテン語は、古代ローマ帝国のみならず中世から近世に至るまでヨーロッパの学問の共通語として用いられた言語です。九州大学では「言語文化古典語科目」として伊都地区で開講されています。



言語文化研究院箱崎分室のご案内

箱崎分室は高年次における語学学習ならびに自律学習支援の場です。1年次に伊都地区で外国語を履修し終えた後でも、箱崎分室で外国語学習を継続でき、また、新たに別の外国語を始めることもできます。

箱崎分室では、2年生以降、「学術英語ゼミ」という英語科目と「言語文化自由選択科目」という初修外国語科目を受講することができます。

「学術英語ゼミ」では、少人数のゼミ形式で、将来のキャリアにつながるような実用的な英語スキルを身につけることができます（「学術英語ゼミ」を履修した場合、修得した単位は言語文化基礎科目の単位として認定されます）。

「言語文化自由選択科目」では、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、韓国語、スペイン語、インドネシア語、イタリア語、エスペラント、オランダ語といった外国語を学習することができます（2年生以上が対象です。なお、「言語文化自由選択科目」は言語文化基礎科目の単位としては認定されません）。「言語文化自由選択科目」の各授業についての詳細を記載したパンフレットを箱崎分室及び各学部の学生係に配布していますので参照ください。箱崎分室ウェブサイトでも確認することができます。

(<http://www.flc.kyushu-u.ac.jp/hakozaki/home.html>)

また、箱崎分室では1000冊以上の語学学習関連書籍（TOEFL、TOEIC対策等）、映画DVDを貸し出しています。在学中に語学力を伸ばそうと思っている方は積極的に利用してください。

※箱崎分室は2018年9月末をもって閉室となり、伊都キャンパス（文系地区）の語学学習室に機能が移転されます。



九州大学大学院言語文化研究院箱崎分室
〒812-8581
福岡市東区箱崎6-10-1 (旧工学部3号館3F)
TEL & FAX 092-642-2285
E-mail flcbr@flc.kyushu-u.ac.jp
<http://www.flc.kyushu-u.ac.jp/hakozaki/home.html>

SALCのご案内

九州大学・伊都キャンパスのSelf-Access Learning Center (SALC:センター1号館1階)は、正課授業外で学生ひとりひとりの英語力や英語学習ニーズに応じた支援を提供する場として、2014年4月にオープンしました。

国際教育研究拠点である九州大学には、多様な学術分野を専攻する学生が学んでおり、英語学習に関するニーズも、「専門分野の英語を学びたい」、「留学に備えてTOEFLの対策をしたい」、「英会話力を伸ばしたい」というように、多様化・細分化しています。こうした幅広いニーズに応えるために、SALCでは、専門スタッフや学生アドバイザーによる英語学習相談や留学相談、英会話練習等、学生一人ひとりのニーズに応じた学習支援を提供しています。また、TOEFL、TOEIC、IELTS等の問題集、英字新聞や雑誌、スタッフおすすめの英語小説など、英語学習に関する様々な有益なリソースを提供し、学生一人ひとりが、自分のニーズに合うリソースに好きな時にアクセスし活用できるようにしています。

さらに、SALCは、留学生と日本人が交流するコモン・エリアとして、学内での異文化交流、ならびに九州大学の国際化の促進に貢献することを目指しています。外国に行かずとも、伊都キャンパスのSALCに行けば、異なる文化的背景を持つ留学生と交流し、日本人同士の交流では得られない国際的感覚を磨くことができるはずです。それは、自国の文化や価値観、あるいは自分自身をも客観的に見つめ直す貴重な機会となることでしょう。

学ぶ場所は、教室の中だけではありません。SALCは、教室の中では得られない様々なリソースを提供することで、学生一人ひとりが自分のニーズに合うリソースを自分で選択し、学生自身が主体となる学びを促進していく「教室外の」英語学習コミュニティです。

SALCを積極的に活用し、自分が立てた目標に向かって、英語力をグングン伸ばしていきましょう。そして、「教室外の」学習コミュニティで、留学生も含めた仲間とともに学び、視野を広げ、九大から飛躍していきましょう。

英語オンライン学習システム

九州大学大学院言語文化研究院は、九州大学の全学生・教職員のために、「ネットアカデミー2」という英語オンライン学習システムを運営しています。全国で300を超える大学が採用している評価の高いシステムです。

利用の際は<http://gogaku.kyushu-u.ac.jp>を御覧ください。学内のみならず、自宅等学外からも利用できます。平成32年3月で供用終了の可能性があります。

問合せ先： netacademy@flc.kyushu-u.ac.jp

ランゲージ・テーブル

学内の異文化交流の場として、学生有志により、英語、中国語、韓国語のランゲージ・テーブル(昼休みにランチを持ち寄って、留学生と気軽におしゃべりをする交流会)が定期的に開催されています。学習言語を実際に使ってみたり、母語話者の友人を作ったりできる、大変貴重な機会です。詳細は、国際部とSALCのHPをご覧ください。

ことばの使用に意識的になろう

言語文化研究院 准教授 岡本 太助

大学であらたなことばを学ぼうとしている皆さんに、語学の先輩としてひとつアドバイスしたいのですが、言語を研究する者の習性として、どうしてもそのアドバイスをするのに用いることばそのものが気になってしまいます。まずいくつかの例を紹介し、そこから何か有用な教訓を引き出せないか試してみましよう。

気になることばといえば、上で用いた「語学」という表現がまずもって奇妙です。字面からすると、これは数学や経済学や物理学のなかまで、学術研究の分野を指しているように思われます。ところが、「彼女は語学に堪能で5カ国語を流暢に話す」と言う場合、この彼女は別に言語研究のエキスパートではありませんよね。皆さんがこれから取り組む「語学」とは、はたして何でしょうか。少し違う訊き方をすると、皆さんは大学で学ぶ英語なりドイツ語なりを使って何をしたいと考えていますか。

別の例を挙げると、「外国語」についても注意が必要です。昨年度版『外国語のすゝめ』の本コラムで辻野先生がお書きになっていたように、「外国語」ということばは慎重に使わなければなりません。「外国語」という言い方をするとき、私たちは無意識のうちに国家と言語を1対1で結びつけています。少し調べてみればわかることですが、一つの言語が一つの国ときれいに重なるケースはきわめて稀です。「井の中の蛙大海を知らず」、あるいは英語で“outside the box”（既成概念にとらわれない）などと言いますが、私たちが日々暮らしている言語環境は、私たちにとっての井戸あるいは箱のようなものでもあって、本来自分のものではない言語を学ぶことで、そうした環境を外から客観的に見直す視点を得ることができます。

ことばを学ぼう、練習しようとするときには、やはりことばを用いる以外にありません。つまり目的(end)と手段(means)がどちらも「ことば」なのです。やや専門的な言い方をすれば、ことばというものはどうしようもなく「自己参照的(self-referential)」なのです。したがって、ことばを学ぶ際には、その対象である言語がどのようなものであるかをしっかり認識しておくのみならず、その目的を達成するために自分もちいる言語にも意識を向けておく必要があります。論語読みの論語知らずではないですが、言語学習者のことば足らずでは困りますからね。

実を言うと、ここまで書いたことの多くは過去に読んだ書物からの受け売りです。他人のアイデアの盗用は学問に

おける御法度ですし、皆さんもそれについて厳しく指導されると思います。英語の授業であれば“Explain this in your own words”という問題を解かされることになるでしょう。だとしても、あらためて自分だけのユニークなことばとは何かと考えてみると、実はそんなものは存在せず、私たちが話すことばは引用だけで成り立っているとも言えます。

ことばのこの厄介な性質をどう考えればよいでしょう。それについて考えるには屋上屋を架す、つまり無駄なことと知りつつもさらに引用するしかありません。昔聴いた歌に、「自由に描いてみようとするば／なんだか妙に不自由な線／ザラッと白い画用紙の上／いつかどこかで見たような線」(真島昌利「クレヨン」)という一節がありました。あるいは、落語家の林家正蔵が襲名の際のインタビューで、「型破りには型が必要だ、型がなければそれはただのカタナシだ」という師匠のことばを紹介していたのを思い出します。自分の中に他者のことばがストックされるというのは、つまり自分でも自由にそのことばを操れるようになるために必要な型を身につけることでもあるわけですね。これは私たちが日々絶え間なく行っていることであって、それを意識的に体系立てて行うのが言語学習であると言えます。

学問に王道なしと言いますが、まずは学習者としての自分が関わってゆくことばをよりよく意識するところから始めましょう。ちなみに「学問に王道なし」は誤訳であると高島俊男が書いています(『お言葉ですが…②』)。何が間違っているの、と思ったあなたは、今まさにことばの大海へと漕ぎ出したところですよ。

You have a long way to go. Good luck!



各外国語の検定・資格試験案内

	特色	試験時期	最寄りの試験場	受験料
英語	TOEFL	英語を母語としない留学希望者の英語力をみるテスト。従来ペーパーによる試験であったが、最近インターネットを用いたTOEFL Internet-Based Testのみになった。(http://www.ets.org/toefl)を参照。TOEFL Internet-Based Test (iBT:最高120点)	iBT 福岡	US\$230
	TOEIC	国際コミュニケーション(主にビジネス)の場で必要とされる英語能力を測るテスト。最高990点。(http://www.toeic.or.jp/toeic)を参照。	福岡、北九州等	5,725円
	実用英語検定(英検)	1級から5級までであるが、九大生は準1級以上を目指したい。詳細は(http://www.eiken.or.jp)を参照のこと。	福岡等	8,400円(1級) 6,900円(準1級)
	IELTS	ブリティッシュ・カウンシルなどが主催する英語力の試験で、英、豪、加などの大学等で利用されている。(http://www.britishcouncil.org/jp/japan-exams-ielts.htm)を参照。	福岡等	25,380円
ドイツ語	ドイツ語技能検定試験(独検)	1級から5級まで。ちなみに、4級は九大の1年次の11月までには学習済みの範囲。普通に授業に出ていれば、合格ライン(例年60点前後)より10点くらい上で合格できる。3級は2年次の6月までに学習済みの範囲。詳細は(http://www.dokken.or.jp)を参照のこと。	福岡	4,500円(4級) 6,500円(3級)
	ドイツ語能力検定試験(オーストリア政府公認)	国際的に通用するドイツ語の検定試験で、世界の約130の機関で実施されている。1年間学習すれば初級は十分合格できる。詳細は(http://www.flc.kyushu-u.ac.jp/~de/oesd)を参照のこと。	九大(7月箱崎)(2月伊都)	7,500円(A1) 9,000円(A2) 11,000円(B1)
フランス語	フランス語検定試験(フランス国民教育省認定)	A1、A2、B1、B2の段階があり学習時間80時間でA1というのが一応の目安・年2回試験。福岡でも受験できる。詳細は(http://www.delfdalf.jp/を参照のこと。	福岡	A1,A2(11,000円) B1,B2(13,000円)
	フランス語検定試験(実用フランス語技能検定)	1級、準1級、2級、準2級、3級、4級、5級。大学2年程度では、3、4級あたりが目安になると思われる。詳細は(http://apefdapf.org/を参照のこと。	福岡	5,500円(3級) 4,500円(4級) 3,500円(5級)
中国語	TECC中国語能力検定	英語のTOEICに相当。初級者から上級者の能力を1種類のテストで測定する。TOEICと同様に、スコアで実力を判定する。新たに初心者用のB-TECCも設定された。(http://www.tecc.jp.com/を参照。	福岡	2,700~6,300円
	HSK漢語水平考試	英語のTOEFLに相当し、中国留学の資格として使える。筆記1~6級、口試(初級・中級・高級)のレベル別に受験する。(http://www.hskj.jp/を参照。	福岡	3,672~9,504円
	中国語検定試験	英語の英検に相当。級ごとに異なる問題を受検し、合否が判定される。詳細は(http://www.chuken.gr.jp)を参照。	福岡	3,000~8,500円
ロシア語	ロシア語能力検定	1級から4級まで。2年生ならば3,4級は合格できる。	福岡	5,000円(4級) 6,000円(3級) 7,000円(1,2級)
	ロシア語検定試験(PKI)	入門、基礎、第1、2、3、4、の6段階。1998年から外国人を対象としてロシア連邦教育省がおこなっている検定試験。2年生ならば、入門・基礎は合格できる。	東京	20,000円(入門・基礎・第1) 22,000円(第2,第3,第4)
韓国語(朝鮮語)	韓国語能力試験	TOPIK I・TOPIK IIの2つから選択。詳細は(http://www.kref.or.jp/examination)を参照。	福岡	個人受験: 3,500円(TOPIK I) 4,000円(TOPIK II)
	ハングル能力検定試験	1級から5級まで。(準2級あり)詳細は(http://www.hangul.or.jp/を参照。	福岡	3,200円(5級)~ 10,000円(1級)
スペイン語	スペイン語検定試験(文科省認定)	1級から6級まで。九大生が1年間スペイン語を学習した場合、4級から6級までの受験が可能。詳細は(http://www.casa-esp.com/link-examen.html)を参照。	福岡	4,000円(4級) 4,000円(5級) 3,000円(6級)
	スペイン語検定試験(文部省認定)	A1・A2・B1・B2・C1・C2の6段階からなっていますが、九州大学でスペイン語を履修した場合、A1・A2レベルまでの受験が可能。詳細は(http://dele.jp/を参照。	福岡	A1 8,800円 A2 10,800円

※ 最新の情報に関しては各ウェブサイトを参照して下さい。

九州大学が大学間の交換留学協定を結んでいる海外の大学一覧

各大学の学期、必要な語学、正式申請時に必要な書類、学内選考後の申請時期等を見たい場合は「九大生向け海外留学情報」を参照。
<http://www.isc.kyushu-u.ac.jp/intlweb/agreeview/agree-list3.php>

国名	大学名	交換 学生枠 (人)	交換学生		ホームページアドレス	96年～16年 の 派遣実績	備 考
			学部	大学院			
アメリカ	ワシントン大学	6	○	○	http://www.washington.edu/	31	いずれも、アメリカで発行されている学生向け大学情報冊子「Profiles of American Colleges」に掲載の大学ランキング中、Most Competitive / Highly Competitive / Very Competitiveにランクされている難関校。
	ライス大学	5	○	×	http://www.rice.edu/	14	
	ミシガン大学	10	○	×	http://www.umich.edu/	36	
	ウィスコンシン大学マディソン校工学部	3	○	×	http://www.engr.wisc.edu/	4	
	デューク大学☆	4	○	×	http://www.duke.edu/	0	
	ベレアカレッジ	5	○	×	http://www.berea.edu/	21	
	グローブシティカレッジ	4	○	×	http://www.gcc.edu/	4	
	ケンヨンカレッジ	2	○	×	http://www.kenyon.edu/	4	
	ジョージア大学★	5	○	○	http://www.uga.edu/	36	
	プリンストン大学☆	受入のみ			http://www.princeton.edu/main/	0	
	イェール大学☆	受入のみ			http://www.yale.edu/	0	
	サンノゼ州立大学	5	○	○	http://www.sjsu.edu/	10	
	アリゾナ州立大学	5	○	○	http://www.asu.edu	10	
イリノイ大学	5	○	×	http://www.uillinois.edu/	1		
北アリゾナ大学	5	○	○	http://nau.edu/	0		
メキシコ	メキシコ国立自治大学	5	○	○	http://www.unam.mx/	3	中南米一の規模と学術水準を持つ総合大学。
チリ	チリカトリック大学	5	○	○	http://www.puc.cl/	2	日本との学生交流も盛んな南米を代表する総合大学。
ブラジル	リオデジャネイロ連邦大学	5	○	○	http://www.ufri.br/	0	ブラジルで最も古く、連邦政府管轄下最大の教育・研究機関。海洋工学、経営学、生医学の分野は、ブラジルにおいて先導的役割を担う。
	サンパウロ大学	5	○	○	http://www.ccont.usp.br	0	ブラジルの「東大」とも称され、これまで多くの優れた人材を輩出している州立大学。
中国	新疆師範大学	2	○	○	http://www.xjnu.edu.cn/	0	中国新疆ウイグル自治区における教育系の拠点校。
	清華大学	2	○	○	http://www.tsinghua.edu.cn/publish/newthu/index.html	9	北京大学と並ぶ中国のトップ大学。理工系は北京大学を凌ぐ。
	華南理工大	3	○	○	http://www.scut.edu.cn/english/index.html	0	理工系大学中トップ10に入る有力校。
	浙江大	5	○	○	http://www.zju.edu.cn/	3	総合大学中トップ5に入る有力校。
	上海交通大	5	○	○	http://www.sjtu.edu.cn/	12	上海の超難関校。元中国国家主席江沢民の母校。
	復旦大	5	○	○	http://www.fudan.edu.cn/index.html	19	上海の超難関校。
	香港大	5	○	○	http://www.hku.hk/	13	香港における大学の双璧をなす難関校。授業はほとんど英語で行われる。
	香港中文大	5	○	×	http://www.cuhk.edu.hk/english/index.html	17	香港において、香港大学と双璧をなす難関校。
	中国人民大	2	○	○	http://www.ruc.edu.cn/	5	社会、人文、経済、管理科学を主とした中国の重点大学。官僚を多数輩出している。
	南京大	5	○	○	http://www.nju.edu.cn/	9	総合大学中トップ10に入る有力校。
	北京航空航大	5	○	○	http://ev.buaa.edu.cn/	1	中国で最初の航空工学と宇宙工学を中心とした工科系の強い総合大学。
	西安交通大	5	○	○	http://www.xjtu.edu.cn/	1	中国教育部直轄の有力総合大学。9重点大学の一つ。
	中国科学技術大	3	○	○	http://www.ustc.edu.cn/en/	0	中国科学院に所属する、先進科学とハイテク技術を中心として科学技術の背景を有する管理及び人文科学も擁する総合重点大学。
	東北師範大	5	○	○	http://www.nenu.edu.cn/	1	「勤奮創業、為人師表」（勤め励んで事業を創出し、人の師表となる）を校是とし、17の学院（学部）、40の専業（専攻）、及び大学院を有する教員養成系の総合大学
	北京大	5	○	○	http://www.pku.edu.cn/	11	1898年設立以降、中国の学問の中心の一つとして中国中に名を知られる国家重点大学である。
	吉林大	5	○	○	http://www.jlu.edu.cn/newjlu/	0	吉林省長春にある総合大学。教育部直轄の重点大学である。
	同済大	5	○	○	http://www.tongji.edu.cn/	1	上海市の北部にある国家重点大学。1907年に創立された医学校が起源。理工系は特に有名。
	武漢大	5	○	○	http://en.whu.edu.cn/	0	武漢市にある総合大学で教育部直轄の重点大学。
	南開大	5	○	○	http://www.nankai.edu.cn	1	天津市南開区にある総合大学で重点大学の一つ。周恩来の母校として有名。
	華中科技大	5	○	○	http://www.hust.edu.cn	0	教育学部直轄の重点大学。
中国農業大	5	○	○	http://www.cau.edu.cn	0	農学、生命科学、情報、経済管理などの学科を有する総合大学。教育部直轄の重点大学。	
モンゴル	モンゴル科学技術大				http://www.must.edu.mn/eng/		
台湾	国立台湾大	5	○	○	http://www.ntu.edu.tw/	10	台湾第一の難関校。
	淡江大	5	○	○	http://www.tku.edu.tw	0	私立の有力大学。企業の学生評価はトップクラスの台湾大学を凌ぐ。
	国立清華大	5	○	○	http://www.nthu.edu.tw/	0	中国大陸の清華大学と起源を同じくする名門校。北京の清華大学と前身を一にする理系の名門大学である。
韓国	釜山大学校	8	○	○	http://www.pnu.edu/uPNU_homepage/kr/default.asp	12	韓国主要日刊新聞中央日報社による大学ランキング研究部門で全国第4位。
	忠南大学校	3	○	○	http://www.chungnam.ac.kr/	5	韓国国立大学中の有力校。



国名	大学名	交換 学生枠 (人)	交換学生		ホームページアドレス	96年~16年 の 派遣実績	備考
			学部	大学院			
韓国	梨花女子大学校	2	○	×	http://www.ewha.ac.kr/	14	ミッション系有名難関大学。女子大としては世界最大規模。
	延世大学校	5	○	○	http://www.yonsei.ac.kr/sc/	15	各種国家試験の合格者数が全国第3位の有力校。
	西江大学校	2	○	×	http://www.sogang.ac.kr	15	韓国主要日刊新聞中央日報社による大学ランキング研究部門で全国第6位。
	慶熙大学校	5	○	×	http://www.kyunghee.edu/	9	韓国私立大学中の有力校。
	ソウル大学校	5	○	○	http://www.useoul.edu/	46	韓国第一の難関校。
	浦項工科大学校	5	○	○	http://www.postech.ac.kr/	0	韓国主要日刊新聞中央日報社による大学ランキング研究部門で全国第2位。研究資金、施設ランキングはいずれも1位
	慶北大学校	5	○	○	http://www.kyungpook.ac.kr	11	大邱市に位置する国立の有力総合大学。
	済州大学校	5	○	○	http://www.jeju.ac.kr/main	9	済州島に位置する国立の総合大学。
	慶尚大学校	5	○	○	http://www.gnu.ac.kr/main/	0	韓国の南西部、慶尚南道を代表する国立総合大学。
	江原大学校	5	○	○	http://www.kangwon.ac.kr/	1	韓国の地方国立大学中最も規模が大きい総合大学。
	東亜大学校	5	○	○	http://www.donga.ac.kr/	15	釜山に位置する有名私立大学。
	成均館大学校	5	○	○	http://www.skku.edu/new_home/index.jsp	1	近年躍進ぶりが顕著な韓国有数の私立総合大学。
	東国大学校	5	○	○	http://www.dongguk.edu/mbs.kr/index.jsp	5	100年の歴史を持つ仏教系の私立総合大学。
	高麗大学校	5	○	○	http://www.korea.edu/	12	韓国トップレベルの私立大学校。その教育および研究の質に対する評価は、韓国内外を問わず極めて高い。
	全南大学校	5	○	○	http://www.jnu.ac.kr/jnumain.aspx	2	光州の有力大学。工学部は韓国文部省からも高い評価を受けている。
中央大学校	5	○	○	http://www.cau.ac.kr	1	韓国の私立総合大学で、ソウルと京畿道安城市にキャンパスがある。	
	韓国科学技術院	10		○	http://www.kaist.ac.kr/html/en/	0	
タイ	マヒドン大学	5	○	○	http://www.mahidol.ac.th/	16	タイの超難関校。医歯系は特に評価が高い。
	チュラロンコン大学	5	○	○	http://www.chula.ac.th/en/	2	タイで最も古い歴史を持つ最難関の総合大学。
	タマサート大学	4	○	○	http://www.tu.ac.th/en/	13	チュラロンコン大学と並ぶ難関の総合大学。
シンガポール	シンガポール大学	5	○	○	http://www.nus.edu.sg/	31	シンガポール第一の最難関校。
	シンガポールマネジメント大学	5	○	×	http://www.smu.edu.sg/	7	会計、ビジネス、経済学・社会学、情報システムの4学部を有し、ペンシルバニア大学ビジネススクールより多数の教員を招いている。
フィリピン	アテネオ・デ・マニラ大学	5	○	○	http://www.admu.edu.ph/	7	フィリピンのミッション系有力大学。
	フィリピン大学	5	○	○	http://www.up.edu.ph/	5	フィリピン随一の最難関総合大学。
インドネシア	ガジャマダ大学	5	○	○	http://www.ugm.ac.id/eng/	4	古都ジョジャカルタに位置し、1949年に創立されたインドネシアを代表する総合大学
	バンドン工科大学				https://www.itb.ac.id/	0	
ミャンマー	ヤンゴン大学					0	
ベトナム	ベトナム国家大学ハノイ校				https://vnu.edu.vn/eng/		
インド	インド工科大学マドラス校	5	○	○	http://www.iit.ac.in/	1	インド工科大学(IIT)はマドラス校を含めて全国に7つのキャンパスを持つ、インド第一の工学・科学技術研究機関。研究水準の高さは国際的にも知られ、躍進するインドのIT産業を支えている。
	マレーシア	マラヤ大学	5	○	○	http://www.um.edu.my/	0
フランス	ストラスブール大学	2	○	○	http://www.unistra.fr/index.php?id=homepage	18	
	グルノーブル大学	5			http://www.univ-grenoble-alpes.fr/	5	
	エコール ナショナル スーペリウール ド テクニク アヴァンセ	5	○	○	http://www.ensta.fr/	0	いずれもフランスの国家エリート養成機関ともいわれるグランゼコールのひとつ。グランゼコールは商学系と理科系に大別され、産官の指導層の養成と高度な技術開発を目的としている。
	エコール ノーマル スーペリウール ド カ シャン		×	○	http://www.ens-cachan.fr/	3	
	エコール スーペリウール デレクトリシテ	5	○	○	http://www.supelec.fr/	0	
	エコール ポリテクニク	5	○	○	http://www.polytechnique.fr/	0	
	エクス-マルセイユ大学 (旧 エクス-マルセイユ第一大学=プロヴァンス大学)	3	○	○	http://www.up.univ-mrs.fr	3	1409年に設立され、人文系(15学部)および理工系(13学部)の2学群がある総合大学。
	ポルドー大学 (旧ポルドー第一大学)	5	○	○	http://www.u-bordeaux.fr/	0	1968年創立で、850名の研究教員、14,000名の学生が在籍し、数学と情報科学、物理学と工学、化学、生命科学、地球科学や海洋科学の分野で教育と研究に従事
	ポルドー大学 (旧ポルドー第二大学)	5	○	○	http://www.u-bordeaux.fr/	1	分野は医学、薬学、歯学、生物学、生物化学、ワイン醸造学、人文科学、教育学。大学は10のUFR(教育研究単位)と1エンジニア専門学校、2研究所で構成されている。
	ポルドー第三大学	5	○	○	http://www.u-bordeaux3.fr/fr/index.html	13	12のUFR(教育研究単位)と大変活発なフランス語教育センターがある。教育・研究分野は環境、国土開発、都市計画、文学、言語、美術史、考古学、情報・コミュニケーション科学。
	ポルドー大学 (旧ポルドー第四大学)	2	○	○	http://www.u-bordeaux.fr/	3	教官350名を擁し、留学生1,500名を含む14,000人を受け入れている。専門分野は法学、政治学、経済経営学。
	ポルドー建築景観学院	5	○	○	http://www.bordeaux.archi.fr	2	建築および建築景観分野のグランゼコール。
	国立東洋言語文化大学 (INALCO)	2	○	○	http://www.inalco.fr	2	
	ポルドー国立農業技術大学校【ポルドー大学連合】	5	○	○		0	

国名	大学名	交換 学生枠 (人)	交換学生		ホームページアドレス	96年~16年 の 派遣実績	備 考
			学部	大学院			
フランス	ポリテクニック・ド・ボルドー【ボルドー大学連合】	5	○	○	http://www.ipb.fr/	0	
ベルギー	レウヴェン・カトリック大学	5	○		http://www.kuleuven.ac.be/	21	ベルギーのオランダ語圏大学における難関校。
ドイツ	ミュンヘン大学	5	○	○	http://www.en.uni-muenchen.de/index.html	39	15世紀に創立されたドイツ屈指の名門大学で、ノーベル賞受賞者も多数輩出。
	ミュンヘン工科大学	5	○	○	http://www.tum.de/	27	19世紀にバイエルン公により創設されたドイツ有数の理科系総合大学。
	ホーエンハイム大学	5	○	○	https://www.uni-hohenheim.de/english	35	農業科学部を中核とする著名な総合大学。
	ハイデルベルク大学	2	○	○	http://www.uni-heidelberg.de/index_e.html	3	
イギリス	ブリストル大学	2	○	○	http://www.bris.ac.uk/	16	トップレベルの大学で、入学難易度では、オックスフォード、ケンブリッジに次ぐ難関校。
	バーミンガム大学	2	○	○	http://www.bham.ac.uk/	3	イギリスをリードする12大学の1つ。
	ニューカッスル大学	3	○	○	http://www.ncl.ac.uk/	11	イギリス北東部に位置し、教育の質の高さで有名。イギリス国内の著名な17の研究機関の集まりであるラッセル・グループのうちの1校。
	シェフィールド大学	2	○	×	http://www.shef.ac.uk/	13	19世紀に創設の難関校。伝統的に工学分野に強い。ノーベル賞受賞者を4人輩出。
	ロンドン大学アジア・アフリカ学院	3	○	○	http://www.soas.ac.uk/	8	ロンドン大学のカレッジの一つ。イギリスでは唯一のアジア、アフリカ及び中近東研究を行う高等研究機関。
	リーズ大学	5	○	○	http://www.leeds.ac.uk/	4	
スウェーデン	ウプサラ大学	5	○	○	http://www.uu.se/en/?languageld=1	27	スウェーデンで最古かつ最大の有力大学。8名のノーベル賞受賞者を輩出。
	スウェーデン王立工科大学	3	○	○	http://www.kth.se/eng/	12	首都ストックホルムに1827年に創立された歴史ある伝統校で、国内6つの工科大学の中で最大規模を誇る。
	ストックホルム大学	5	○	○	http://www.su.se/english/	13	ノーベル賞受賞者や実業家、政治家を多数輩出、ヨーロッパで評判の良い大学のひとつ。
オランダ	ライデン大学	5	○	○	https://www.universiteitleiden.nl/en	2	1575年創設のオランダ最古の国立大学。欧州でも指折りの日本研究及び日本語教育の拠点としても知られている。
アイスランド	アイスランド大学	5	○	○	https://english.hi.is/	5	1911年創立以来、国立大学として国内の教育水準の維持に努め、国家発展の中心的な役割を担ってきた。
ロシア	サハリン国立総合大学	5	○	○	http://www.sakhgu.ru/	0	サハリン(千島列島を含む)において唯一の国立高等教育機関であり、経済・東洋学大学は当地の日本語教育の中心的役割を担っている。卒業生はサハリン内外の教育界、経済界で活躍中である。
	サンクトペテルブルク大学	3	○	○	http://www.spbu.ru	5	モスクワ大学と並ぶ、ロシアの名門大学であり、長年、ロシアの教育、文化面で多大な役割を果たし、有為の人材を多く輩出。
オーストラリア	オーストラリア国立大学	5	○	○	http://www.anu.edu.au/	1	
	クィーンズランド大学	2	○	○	http://www.uq.edu.au/	16	オーストラリアにおける1998年度University of the Yearに選出された有力校。
	シドニー大学	3	○	○	http://www.usyd.edu.au/	5	1850年にニューサウスウェールズ州の州都シドニーにオーストラリア最初の大学として創設された。オーストラリアの教育と研究をリードする'W:Group of Eight'のメンバーで、最大の大学の1つである。文系に強い。
	シドニー工科大学	5	○	○	http://www.uts.edu.au/	3	
エジプト	カイロ大学	5	○	○	http://www.cu.edu.eg	0	
	アレキサンドリア大学	5	○	○	http://www.alexu.edu.eg/	0	
総計						867	

(備考) 1. 表中の大学は原則として入学料・検定料・授業料のいずれも不徴収だが、次の例外がある。

☆の大学は授業料を徴収。(入学料、検定料は不徴収) ★の大学は大学院生の場合は検定料を徴収。(入学料、授業料は不徴収)

2. 留学先大学での使用言語等の詳細については、次のHPを参照ください。

<http://www.isc.kyushu-u.ac.jp/intlweb/agreeview/agree-list3.php>



交換留学 Q&A

九州大学では、平成8年度から学生交流協定を締結している外国の大学への学生派遣を開始し、留学を推奨しています。この制度による留学を一般に「交換留学」と呼んでいます。

交換留学には、①全学の学生を対象とした学生交流協定を締結した外国の大学への留学と②各学部・学府が独自に学生交流協定を締結した外国の大学への留学とがあります。

①については学務部留学生課が、②については所属学部の学生係等が窓口となります。ここでは、主に①について記載をしています。

Q 交換留学とはどのようなもので、どのような大学へ留学が可能ですか？

A 学生交流協定は、在学生(休学者を除く)を1年を超えない期間、交換留学生として外国の大学へ派遣するものです。留学中は、九州大学に所要の授業料を納める必要はありますが、留学先の大学に授業料を納める必要はありません。また、留学中の宿舍などに便宜が図られることもあります。

この交換留学は、留学先大学で取得した単位および在学期間は、九州大学の卒業要件として取り扱われます。ただし、取得単位の認定については、所属学部の教授会等で審査されます。

留学可能な大学については前ページの表を見てください。なお、上記②の学部・学府独自で学生交流協定を締結した大学のリストは、九州大学の海外留学ホームページ(<http://www.isc.kyushu-u.ac.jp/intlweb/agreeview/agree-list2.php>)に掲載しています。

Q 外国語はどれ位できたら良いですか？

A 英語圏の大学(非英語圏の大学の英語プログラムを含む)では、TOEFL iBT(インターネットテスト)で概ね79点またはIELTS6.0以上のスコアが受入れ大学から要求されます。なお、TOEFL・IELTSのスコアは2年間有効です。留学申請書の提出までにTOEFL・IELTSを受験してスコアを入手し、この条件をクリアしておく必要があります。

なお、学内申請の段階では、TOEFL ITP(ペーパーテスト形式の団体向け試験=九大でも年4回程度実施しています)のスコアも認められます。

また、英語圏以外の大学では、留学希望国の言語の運用能力が要求されます(英語プログラムへの留学の場合を除く)。

本格的な留学の前に語学力をアップさせたいという方には、「短期語学留学制度 The 21st Century Challenges in Living Abroad Program (CLP)」(中国語)があり、選考を経て、毎年約8名程度が3週間の語学留学に派遣されています。このプログラムは、春休みに実施し、授業料と宿泊費用を九州大学が負担しています。

注)TOEFL PBTは、2007年11月以降日本では実施されていません。



Q 学内の選考はどのように行われますか？

A 募集時期は、7月~8月下旬で、9月に学内面接を行います。この他、教員からの推薦による募集が12月~1月と4月にあり、それぞれ学内面接をします。また、留学説明会を5月、7月に開催します。日程等の詳細は各学部へ連絡しますので、掲示等を見逃さないようにしてください。海外留学メールマガジンに登録された方にはEメールで直接お知らせします。

面接は、留学希望先の言語で行い(韓国、タイ、ベルギーなどで英語プログラムを希望する学生には英語で面接)、「留学目的をしっかりと持ち交換留学生としてふさわしい人物か」「留学に十分な語学力があるか」などを審査します。

Q 海外留学メールマガジンをご存じですか？

A 登録すると…海外留学情報がダイレクトに配信されます。携帯メールでも受信できます。

例えば…交換留学情報、短期語学留学の情報

TOEFLに関する情報、留学生のチューター募集 etc.

- 学生ポータルシステムより、ご本人のみご登録頂けます。ユーザIDとパスワードは、教育情報システム(履修登録などを行うシステム)と共通です。

学生ポータルシステム
「九州大学」「学生ポータル」「ログイン」で検索して下さい。九州大学HPの該当部分が見つかります。

海外留学の情報収集

留学相談窓口(学務部留学生課)
Global Gateways

<http://www.isc.kyushu-u.ac.jp/intlweb/study>

を是非一度訪れてください。過去の留学者のレポートも掲載しています。また、留学情報を掲載した「留学ガイド」を発行しています。Global Gatewaysから閲覧できますので、ぜひ参考にしてください。

そのほか、英語圏の大学を目指す人は

TOEFL情報の掲載されたCIEEホームページ

<http://www.cieej.or.jp/>

IELTS情報の掲載された英検協会ホームページ

<http://www.eiken.or.jp/ielts>

も役立ちます。

日本学生支援機構(JASSO)のホームページ

<http://www.jasso.go.jp>

も参考になります。

以下のような研修旅行があり、九州大学の英語科目として実施します。

英語・学術研修

研修先 英国ケンブリッジ大学ペンブローックカレッジ



期 間

事前研修 11月～8月

現地研修 8月中下旬～9月上旬の3週間強

人 数

27～30名

研修内容

原則として、学寮に滞在しながらペンブローックカレッジが提供する英語集中コースと講義科目(自然科学、人文科学から選択)を中心に、晩餐会など各種イベントを体験。週末は独力で準備した自由旅行。

説明会・その他

平成30年夏現地研修の参加者は既に決定済み。平成31年夏の参加申込みについては英語授業でチラシを配布。説明会はできる限り参加して下さい(日程は下記HPにて発表します)。

または右記参照。 <http://www.flc.kyushu-u.ac.jp/~yubun/index.html>



九州大学大学院言語文化研究院

Faculty of Languages and Cultures, Kyushu University

genbun@flc.kyushu-u.ac.jp

<http://www.flc.kyushu-u.ac.jp>

編集：九州大学大学院言語文化研究院 広報委員会

2018年3月 発行